

(名称) 日本山人参協会

理事長：至誠堂製薬株式会社 代表取締役社長 富士 俊隆

会長：株式会社アピカ・コーポレーション 代表取締役 齋田 圭子

(趣旨・目的・メリット)

- 日本山人参の知名度を上げ、情報発信します。
- 目的は、日本山人参を世界発信し、山人参取扱の啓蒙を促す促進です。
- 「協会」とは、商品知識、こだわり、説明ノウハウ、取扱促進ノウハウを体系化して公開するものです。山人参の販促20年の齋田圭子のノウハウを初めて公開するもので、日本山人参協会の支部としての位置付けです。
- 会員募集をしていきます。(無料)

(協会運営の考え方)

企業と顧客との真の関係性を築き持続させるためには、「顧客接点」即ちドラッグストアの顔が直接見える現場をどう増やしてどのように良い対応の機会を作るかがカギになる。

「顧客接点＝協会」での顧客との関係性の再構築をしていくのが、協会設立の目的です。

顧客への本当のサービスの姿とは、モノというハード＋エモーション(心)というソフトの複合体によって実現できる。

協会は、ソフトサービスの創造と活用場＋ソフトサービスのメンテナンスを行う。

会員(至誠堂製薬)のキャンペーンガールに齋田圭子になり「販売店や取引先の創造と維持の本質的なソフトサービスの創造と広報活動」を実践するステージが、日本山人参協会です。

(協会設立の取り組み)

- 協会設立(会員確定)の内定を条件に、協会の骨組み構築(企業理念を主として)を実施します。
- 協会の内容と活動スケジュールを決定します。
- 齋田圭子ブランドと協会ブランド・アイデンティティ＝ブランドコンセプトのミックス構築
- 協会の内容と会員への知識普及(学習意欲)のコンテンツを、ビジネスブログで作成、更新する仕組み。
- プレスリリースの発行